

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まごころ「しゅくれんじ」			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		～	2025年 11月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数)	37名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 15日		～	2025年 11月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせたSST教材の充実化	年代や個別支援計画の内容に合わせたSST教材を個々に用意をしています。また、机上学習に留まらず集団場面での遊びの中や生活の一部でも発揮出来るよう支援をしています。	ステップアップが出来るよう、今の教材からスモールステップで着実にスキルを身に付け、個別支援計画の目標達成を目指しています。
2	遊びや活動の充実化	お子様が自身で考えやりたいと思ったことは出来るだけ実行が出来るようにしています。その中でルールの理解や他児との協力・一体感が持てるようにしています。	やりたい！を引き出せるようまずは色々なことに興味を持てるよう新しいことに挑戦したり、体験出来るよう企画をしたりしていきます。
3	多岐に渡るイベントの企画	2025年度は、新しく栽培活動やSST学習に注力し、より子どもたちが「できた！」を感じられる機会づくりを大切にしてきました。日々の生活につながる学びを増やし、一人ひとりの興味やペースに合わせた活動を進めています。	好評だったイベントについては継続して行っていき、固定化しないよう常に新しい企画を考え運営をしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練の実施や災害時のマニュアルや備品などの整備について保護者様に知って頂く機会が少ない為、知ってもらえる機会の創出や発進	年間で避難訓練の実施回数等が決まっていますが、保護者様視点では見えにくい部分だと感じます。また、ブログ等での発信の機会も少ないです。	お子様と一緒に訓練を実施したり、普段の活動でも災害に関わる活動を取り入れたりしていきます。
2	地域の方との交流について現在のところ行えていない	地域の方とのコミュニティー形成不足と、一緒に行える活動の創出が不十分だったと思います。	事業所公開や販売会など、地域の方が参加出来る活動をもっと考え実施していきたいです。

3	保護者会など保護者様同士で関わる機会がなかった。横の繋がりを促すと共に、事業所のコミュニティー形成が足りていない	保護者会など複数の保護者様が参加する機会を作れていませんでした。また、活動として保護者様が参加出来るようなプログラムがまだ無い為、今後検討をしていきたいです。	保護者会や保護者様が参加出来るプログラムを検討していきます。普段の事業所でのお子様の様子を見る機会を通してより一層の連携強化を図れると考えます。
---	--	---	--